

静岡県月例経済報告

(平成30年1月号)

……平成29年11月を中心とした県内経済のすがた……

No. 501

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	4
・ 需要面	4
・ 生産面	13
・ 雇用面	15
・ その他	18
III 静岡県主要産業の動向	22
IV データからみた県内主要産業	25

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔本稿は、平成29年11月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。〕

概況

平成29年11月を中心とした静岡県の景気は、回復しつつある。

先行きについては、意欲的な設備投資計画などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産の回復状況と海外経済の動向に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・ 設備投資は、増加の動きがみられる。
- ・ 輸出は、増加している。
- ・ 生産は、持ち直しつつある。

需要面

◎個人消費は、緩やかに持ち直している。

大型小売店販売額(11月)は、百貨店が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、スーパーが7か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも、5か月連続で前年実績を下回った。

専門量販店等販売額(11月)は、家電大型専門店、コンビニエンスストア、ホームセンターがいずれも2か月ぶり、ドラッグストアが9か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも9か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(11月)は、軽自動車は9か月連続で前年実績を上回ったものの、乗用車が2か月連続で前年実績を下回ったことから、総数でも2か月連続で前年実績を下回った。

◎住宅建設は、前年を下回った。

新設住宅着工戸数(11月)は、分譲住宅が6か月ぶりに前年実績を上回ったものの、持家が5か月連続、貸家が2か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも5か月連続で前年実績を下回った。

◎公共投資は、前年を下回った。

公共工事請負金額(11月)は、2か月ぶりに前年実績を下回った。

◎設備投資は、増加の動きがみられる。

日銀短観(平成29年12月15日)の平成29年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業のいずれも増加の計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業のいずれも増加の計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(11月)は、2か月ぶりに前年実績を下回った。

◎輸出は、増加している。

輸入は、前年を上回った。

輸出総額（11月）は、原動機が4か月ぶり、エアコンが3か月ぶり、自動車の部品が7か月連続で前年実績を下回ったものの、自動車が13か月連続、二輪自動車類が11か月連続、科学光学機器が6か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも13か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額（11月）は、原動機などが前年実績を下回ったものの、魚介類やパルプなどで前年実績を上回ったことから、総額でも9か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、893億円の輸出超過となった。

生産面

◎生産は、持ち直しつつある。

鉱工業生産指数（10月）は、パルプ・紙・紙加工品が5か月連続、食料品・たばこが2か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械が5か月ぶり、電気機械が6か月連続、輸送機械が11か月連続、化学が10か月連続で前年水準を上回ったことから、総合でも10か月連続で前年水準を上回った。また、2か月に前月を上回った。

なお、鉱工業在庫指数（10月）は、総合では4か月に前年水準を上回った。

雇用面

◎雇用情勢は、改善の動きを続けている。

有効求人倍率（11月）は1.59倍で、前月を0.01ポイント上回った。また、46か月連続で1倍を上回った。なお、9か月連続で全国値を上回った。

雇用保険受給者実人員（11月）は、52か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（10月）は、3か月連続で前年実績を上回った。

その他

◎金融環境は、貸出残高、信用保証金額のいずれも前年を上回った。

県内金融機関の貸出残高（11月）は、前年同月比1.7%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額（11月）は、前年同月比4.7%増と前年実績を上回った。

◎企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を下回った。

企業倒産（12月）は、件数は15件で前年同月比57.1%減と、前年実績を下回った。

負債総額は同77.9%減と、前年実績を下回った。

<<県の取組>> 「第6回 静岡県ものづくり競技大会」の開催

～技能の 県下No.1を目指す「第6回静岡県ものづくり競技大会」～

技術専門学校・工業高校・専門学校等で、ものづくりの技術・技能を学ぶ総勢225人の選手が全国大会への切符をかけて県下一を目指し競技大会（全16部門）を開催します。

1 開催概要 平成30年2月3日（土） 開会式9時30分～ 競技開始10時～

会場	部門	対象者	選手数
清水技術 専門学校	配管	総合	21人
	旋盤	総合	14人
	フライス盤	総合	6人
	電気工事	総合	8人
	小計		
沼津技術 専門学校	電子回路組立	総合	22人
	ITネットワークシステム管理	総合	16人
	溶接	高校生	18人
	小計		
浜松技術 専門学校	建築大工	総合	9人
	小計		
静岡デザイン 専門学校	グラフィックデザイン	総合	20人
	小計		
科学技術高校	機械製図CAD	総合	17人
	旋盤	高校生	15人
	シーケンス制御	高校生	8人
	電子回路組立	高校生	6人
	木材加工	高校生	20人
	化学分析	高校生	10人
	測量	高校生	15人
	小計		
合計			225人

2 参加校（参加エントリー数 計225人）

テクノカレッジほか職業能力開発校7校（76人）、工業高校13校（129人）、専門学校3校（20人）

3 上位大会への出場

上位入賞者は、平成30年8月に開催される若年者ものづくり競技大会（全国大会：未就業20歳以下対象）、または高校生ものづくりコンテスト東海大会（優勝者は全国大会へ選出）の県代表候補となります。

4 問合せ先

経済産業部就業支援局職業能力開発課（ものづくり人材班）
電話 054-221-2823

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

11月 = 34,063百万円

*前年同月比： 1.5%減

(県内3百貨店、132スーパー合計)

<概況>

11月の大型小売店販売額は34,063百万円で、前年同月比 1.5%減となり、5か月連続で前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 0.9%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、スーパー（同 2.2%減）が7か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも5か月連続で前年実績を下回った。

商品別では、衣料品（前年同月比 4.6%減）、身の回り品（同 3.5%減）、家庭用品（同 4.6%減）がいずれも2か月連続、飲食料品（同 1.6%減）が5月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は0.6%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
販売額(百万円)	33,040	34,010	33,274	35,877	33,985	31,500	33,613	34,063
前年同月比(%)	0.5	▲0.3	0.1	▲0.4	▲1.4	▲0.8	▲2.3	▲1.5
うち百貨店(%)	1.9	4.0	2.5	▲1.7	▲0.6	6.0	▲4.4	0.9
スーパー(%)	0.1	▲1.3	▲0.5	▲0.1	▲1.6	▲2.3	▲1.8	▲2.2
(参考1)全国前年同月比(%)	1.1	▲0.6	0.2	▲0.2	0.6	1.9	▲0.7	1.4
うち百貨店(%)	1.0	0.1	1.5	▲1.3	2.1	4.2	▲0.5	3.6
スーパー(%)	1.1	▲0.9	▲0.4	0.4	0.1	0.8	▲0.9	0.2
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	0.3	▲0.2	▲0.2	0.5	0.2	0.5	▲1.1	▲0.6

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
衣料品	▲1.3	▲1.8	▲3.3	▲1.9	▲5.3	1.7	▲3.8	▲4.6
うち紳士服・洋品	▲7.1	▲4.7	▲4.6	▲1.4	▲8.0	3.8	▲1.6	▲4.6
婦人・子供服・洋品	1.1	▲0.7	▲2.2	▲2.7	▲3.6	1.6	▲4.4	▲4.0
身の回り品	2.8	0.7	0.3	▲0.2	▲3.6	6.2	▲3.3	▲3.5
飲食料品	0.7	▲0.1	0.3	▲0.7	▲1.3	▲2.5	▲2.1	▲1.6
家庭用品	▲3.6	▲6.1	▲2.6	▲1.9	▲3.3	1.4	▲4.0	▲4.6
うち家庭用電気機械器具	▲12.3	▲21.4	▲10.5	▲2.5	▲12.1	▲5.4	▲10.4	▲6.2

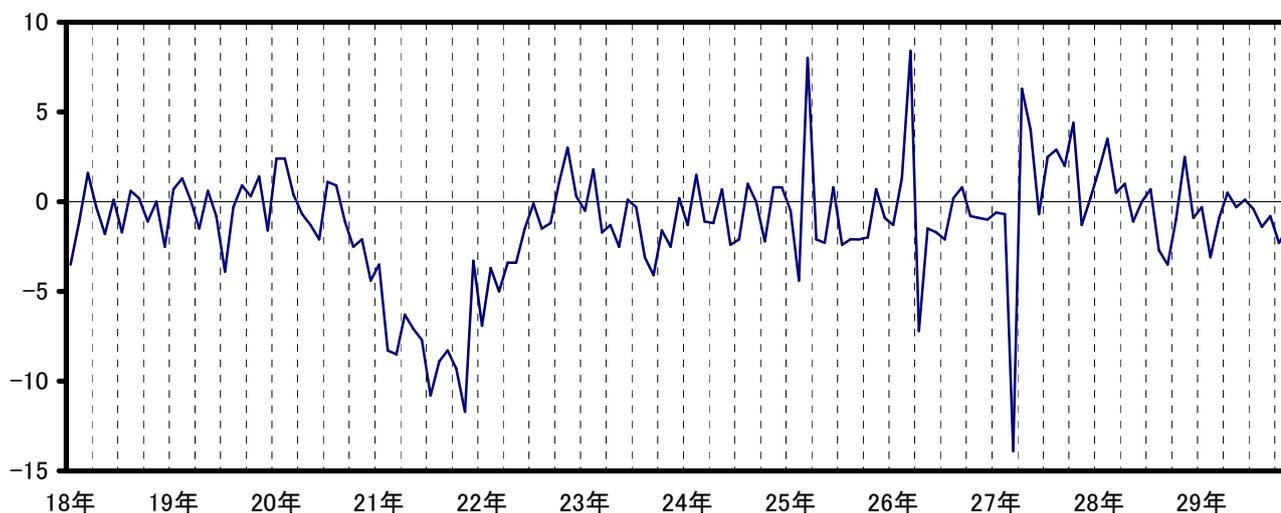
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 百貨店販売額

11月 = 6,578百万円

*前年同月比： 0.9%増

(県内3百貨店販売額)

<概況>

11月の県内3百貨店の販売額は6,578百万円で、前年同月比 0.9%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

品目別にみると、衣料品（前年同月比 3.2%減）、身の回り品（同 4.4%減）、家庭用品（同 13.7%減）がいずれも2か月連続で前年実績を下回ったものの、食料品（同 2.9%増）が2か月ぶり、雑貨（同 16.3%増）が12か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
販売額（百万円）	5,838	6,015	6,010	6,928	5,020	5,350	5,918	6,578
前年同月比（%）	2.0	3.9	2.6	▲ 1.8	0.2	5.4	▲ 4.5	0.9
(参考)全国前年同月比（%）	0.7	0.0	1.4	▲ 1.4	2.0	4.4	▲ 1.8	2.2

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済

<資料>県百貨店協会, 日本百貨店協会

<品目別前年同月比の推移>

(単位：%)

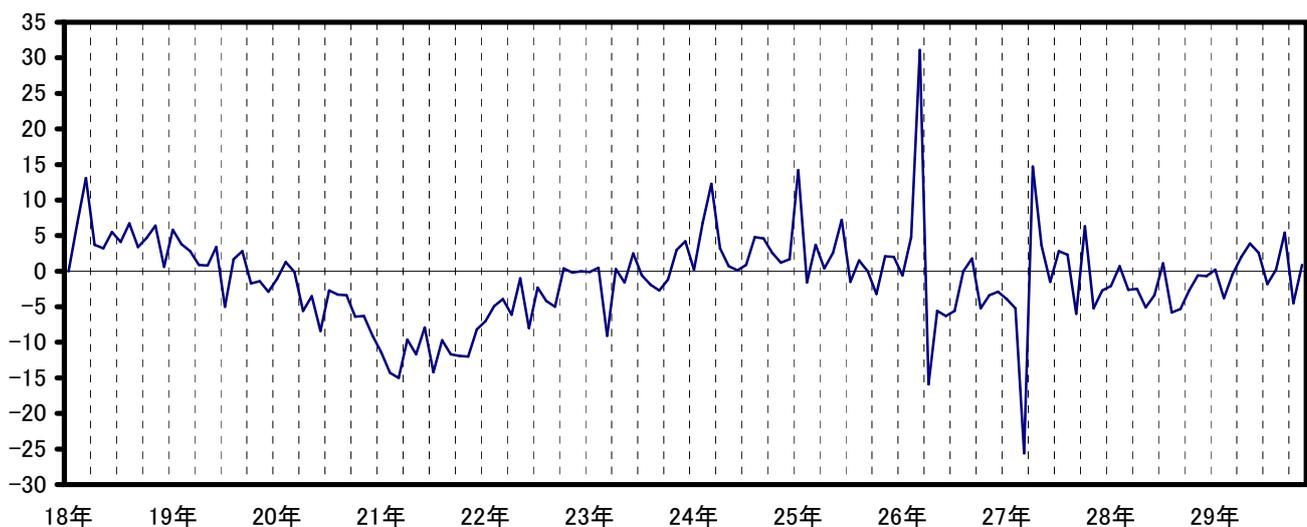
	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
衣料品	1.5	0.4	▲ 1.6	▲ 4.5	▲ 3.5	4.3	▲ 6.6	▲ 3.2
うち紳士服・洋品	0.4	▲ 6.0	▲ 2.6	▲ 3.5	▲ 0.5	8.3	▲ 6.6	▲ 5.4
婦人服・洋品	1.8	1.8	▲ 0.9	▲ 5.7	▲ 2.2	5.0	▲ 6.8	▲ 1.0
子供服・洋品	▲ 0.2	▲ 0.6	11.1	▲ 4.3	▲ 4.4	3.5	▲ 5.7	▲ 7.8
身の回り品	4.4	4.1	1.2	0.5	▲ 0.5	8.7	▲ 3.8	▲ 4.4
家庭用品	▲ 1.5	▲ 2.7	▲ 2.8	▲ 7.4	▲ 5.2	4.8	▲ 12.0	▲ 13.7
食料品	▲ 2.4	6.1	0.6	▲ 1.8	▲ 2.3	2.7	▲ 4.4	2.9
雑貨	10.3	10.5	17.0	4.6	14.2	13.1	2.0	16.3
うち美術・宝飾・貴金属	11.7	24.4	23.3	9.1	23.0	15.7	▲ 8.7	▲ 6.2

(注)店舗数調整済

<過去10年間の推移>

県内百貨店販売額前年同月比（%）

<資料>県百貨店協会



(3) 専門量販店等販売額

11月 = 64,594百万円

*前年同月比： 2.9%増

(県内94家電大型専門店、1,741コンビニエンスストア、466ドラッグストア、101ホームセンター合計)

<概況>

11月の専門量販店等販売額は64,594百万円で、前年同月比 2.9%増となり、9か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比 5.2%増）、コンビニエンスストア（同 0.3%増）、ホームセンター（同 0.9%増）がいずれも2か月ぶり、ドラッグストア（同 6.6%増）が9か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
販売額(百万円)	64,824	67,888	64,855	74,952	70,918	63,700	64,401	64,594
前年同月比(%)	4.0	3.7	2.1	3.6	2.7	3.5	0.1	2.9
うち 家電大型専門店(%)	6.0	2.5	▲ 3.4	6.4	4.6	0.7	▲ 2.4	5.2
コンビニエンスストア(%)	2.9	2.9	2.4	2.8	2.0	1.4	▲ 0.6	0.3
ドラッグストア(%)	7.0	6.5	5.6	5.2	4.8	8.5	5.7	6.6
ホームセンター(%)	▲ 0.2	1.7	▲ 1.6	0.1	▲ 1.0	2.7	▲ 7.5	0.9
(参考)全国前年同月比(%)	3.9	3.1	2.3	4.5	3.2	3.3	0.8	3.5

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

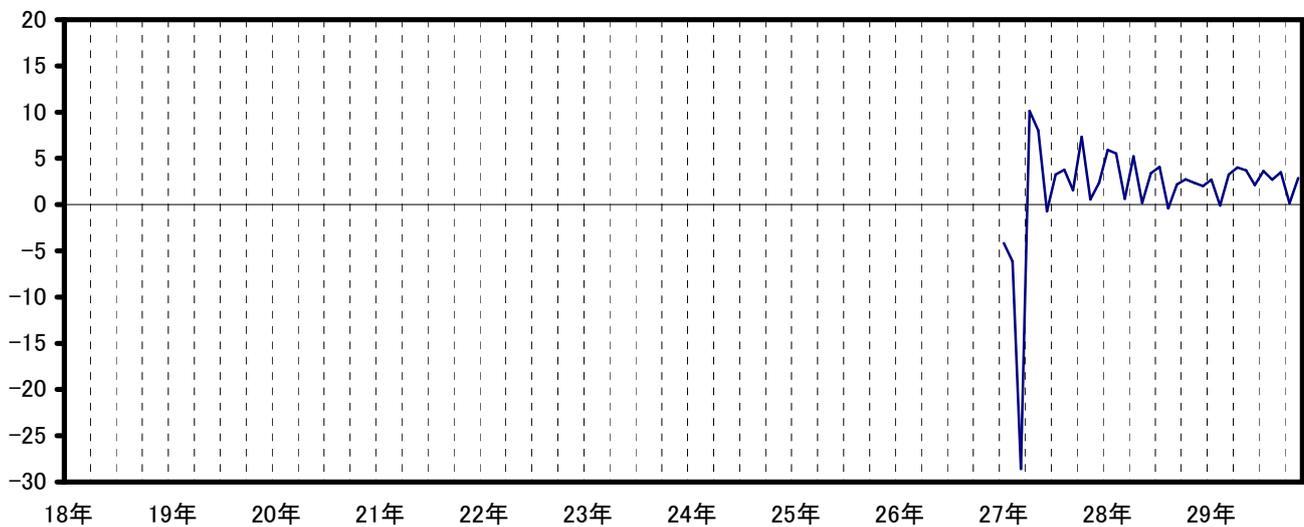
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(4) 自動車(新車)新規登録台数**11月 = 13,434 台**

*前年同月比： 1.5%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

11月の自動車(新車)新規登録台数は13,434台(前年同月比 1.5%減)となり、2か月連続で前年実績を下回った。

車種別にみると、軽自動車(前年同月比 2.4%増)が9か月連続で前年実績を上回ったものの、乗用車(同 4.3%減)が2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
登録台数(台)	11,763	12,394	16,106	14,281	11,788	17,157	12,382	13,434
前年同月比(%)	12.8	10.7	13.4	4.8	5.8	5.0	▲ 1.0	▲ 1.5
(参考)全国前年同月比(%)	10.4	13.4	15.1	2.6	4.1	5.3	▲ 1.2	▲ 2.7

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

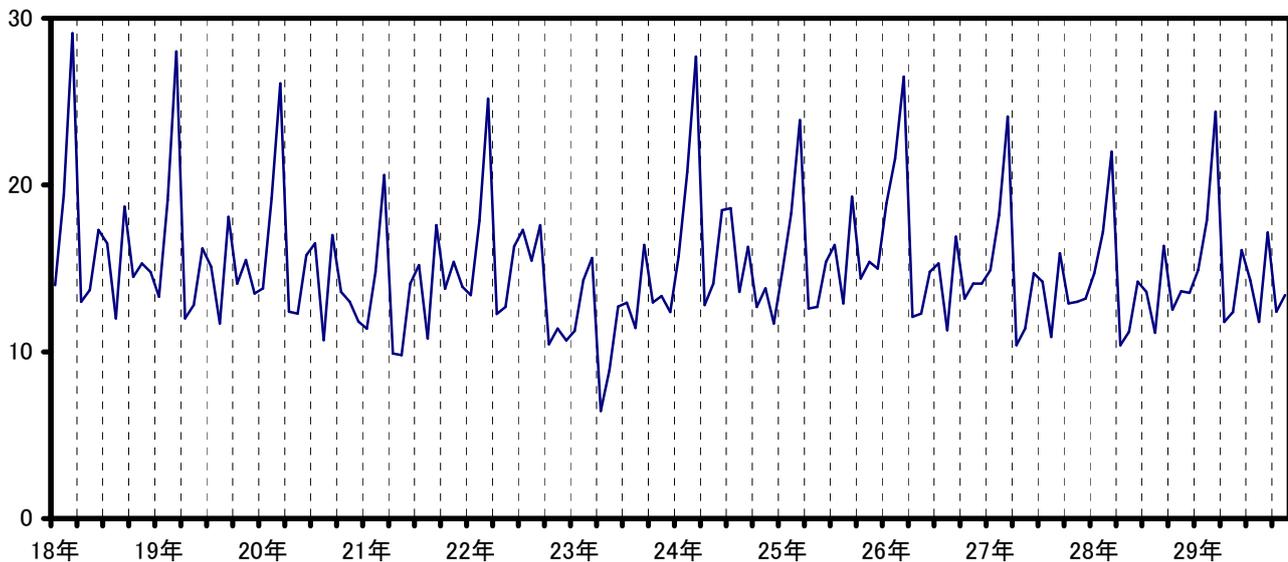
	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
全乗用車	12.8	10.7	13.4	4.8	5.8	5.0	▲ 1.0	▲ 1.5
乗用車	7.9	7.1	14.7	1.7	8.6	5.1	▲ 7.4	▲ 4.3
軽自動車	19.5	15.8	11.5	9.2	2.2	4.9	7.5	2.4

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

11月 = 1,820 戸

*前年同月比： 17.8%減

<概況>

11月の新設住宅着工戸数は1,820戸で、前年同月比 17.8%減となり、5か月連続で前年実績を下回った。

利用関係別にみると、分譲住宅（前年同月比 11.2%増）が6か月ぶりに前年実績を上回ったものの、持家（同 12.0%減）が5か月連続、貸家（同 35.4%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

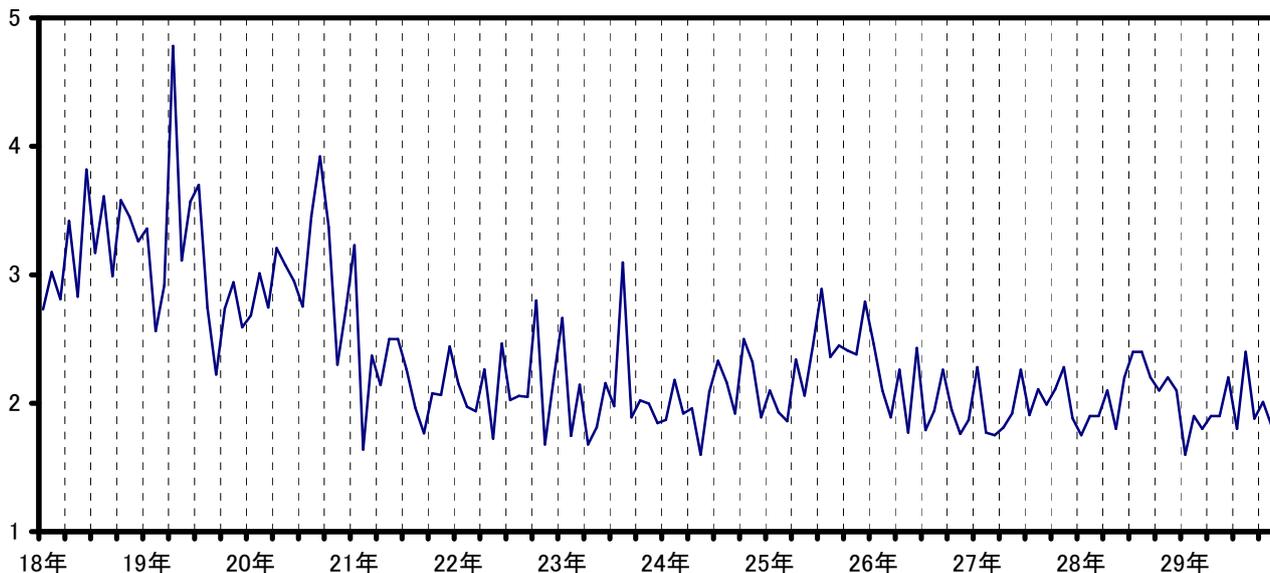
	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
戸数（戸）	1,883	1,937	2,208	1,838	2,387	1,878	2,012	1,820
前年同月比（%）	▲ 10.2	6.6	0.6	▲ 22.0	▲ 0.7	▲ 13.8	▲ 3.5	▲ 17.8
うち持家（%）	3.4	13.0	8.0	▲ 17.4	▲ 9.9	▲ 7.7	▲ 5.3	▲ 12.0
貸家（%）	▲ 15.6	▲ 4.0	8.5	▲ 36.1	22.5	▲ 31.3	7.9	▲ 35.4
分譲住宅（%）	▲ 32.8	13.3	▲ 17.9	▲ 9.3	▲ 17.5	0.0	▲ 15.9	11.2
(参考)全国前年同月比（%）	1.9	▲ 0.3	1.7	▲ 2.3	▲ 2.0	▲ 2.9	▲ 4.8	▲ 0.4

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

11月 = 13,967百万円

*前年同月比： 1.7%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

11月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は13,967百万円で、前年同月比 1.7%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は667件で、前年同月比 1.5%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
金額（百万円）	55,088	20,047	32,699	27,049	24,287	45,692	21,188	13,967
前年同月比（%）	9.3	4.9	43.8	▲ 3.4	▲ 17.7	▲ 9.3	9.8	▲ 1.7
年度累計前年同月比（%）	9.3	8.1	16.9	12.2	6.3	2.4	3.0	2.7
件数（件）	495	467	721	745	792	1,371	729	667
前年同月比（%）	3.6	18.8	14.3	▲ 8.9	▲ 10.5	▲ 5.1	11.0	1.5
年度累計前年同月比（%）	3.6	10.4	12.1	4.7	0.5	▲ 1.3	0.2	0.4

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

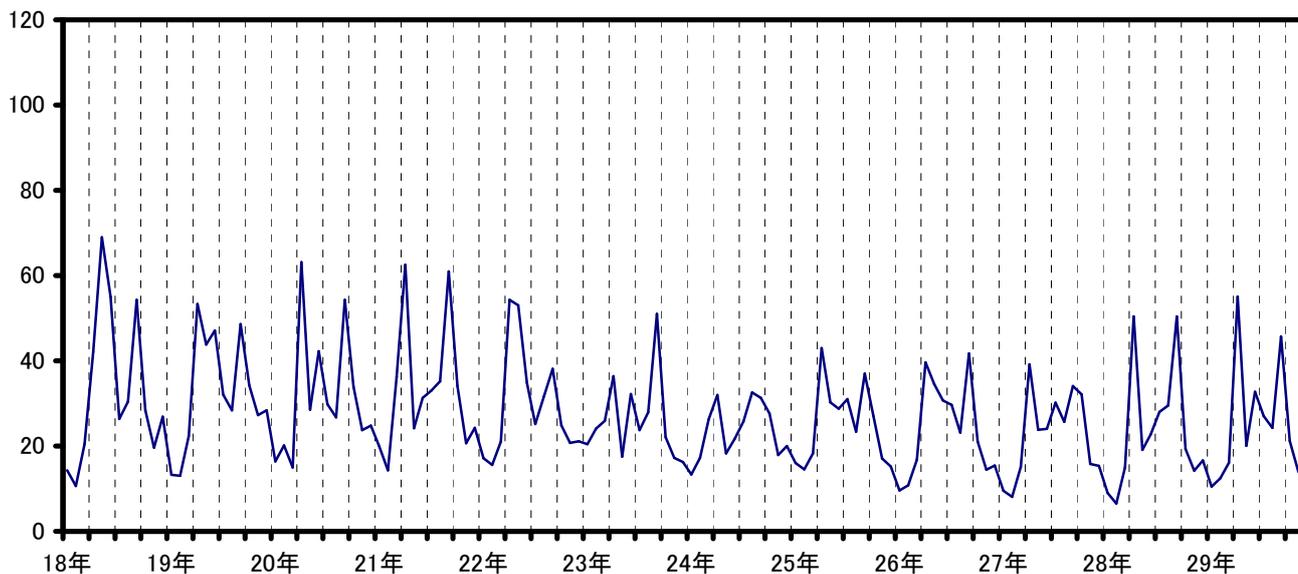
	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
国	▲ 38.2	53.6	135.1	▲ 3.0	▲ 40.7	3.6	107.7	108.8
独立行政法人等	208.8	▲ 71.2	98.0	▲ 92.5	5,289.9	▲ 49.2	▲ 33.9	▲ 59.0
県	30.6	105.1	▲ 7.3	▲ 17.2	▲ 18.2	3.3	▲ 35.0	▲ 24.9
市町	▲ 17.8	5.8	38.0	▲ 0.6	▲ 17.8	▲ 18.9	28.9	11.3
地方公社	123.4	▲ 96.0	—	707.1	39.3	586.3	▲ 90.9	21.0
その他	▲ 74.8	▲ 107.0	17.9	46.2	▲ 47.0	153.8	316.9	▲ 45.7

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

平成28年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業で増加、非製造業、全産業では減少した。ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業のいずれも減少した。

平成29年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 22.4%増）、非製造業（同 2.5%増）、全産業（同 13.3%増）のいずれも増加の計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 16.3%増）、非製造業（同 3.0%増）、全産業（同 12.9%増）のいずれも増加の計画となっている。

11月の着工建築物床面積（非居住用）は96,613㎡で、前年同月比 32.1%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		28年度 (実績)	29年度 (計画)
全産業	県	▲0.5	(▲0.9) 13.3
	全国	0.4	(1.6) 6.3
製造業	県	0.1	(▲1.8) 22.4
	全国	2.6	(▲1.5) 10.1
非製造業	県	▲1.2	(0.5) 2.5
	全国	▲0.7	(3.5) 4.3

（ ）内は前回調査比修正率 ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		28年度 (実績)	29年度 (計画)
全産業	県	▲0.6	(▲1.5) 12.9
	全国	0.3	(0.8) 7.5
製造業	県	▲0.4	(▲1.9) 16.3
	全国	0.6	(▲0.7) 7.4
非製造業	県	▲1.3	(▲0.2) 3.0
	全国	0.0	(2.4) 7.7

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成29年12月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(平成29年12月調査)」

<最近の動き>

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	149,936	145,007	176,342	117,369	131,182	82,379	117,588	96,613
前年同月比（%）	66.6	115.2	77.4	8.3	▲29.5	▲51.9	50.8	▲32.1
(参考) 全国前年同月比（%）	19.3	▲11.0	2.7	18.0	▲3.3	6.9	16.2	6.3

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

		29年9月	29年12月	30年3月 (予測)
全産業		16	18	10
	製造業	18	22	13
	非製造業	14	15	8
(参考) 全国・全産業		15	16	11

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成29年12月調査)」

5 輸出

11月 = 178,899百万円

*前年同月比： 9.5%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

11月の清水税関支署管内の輸出総額は178,899百万円で、前年同月比 9.5%増となり、13か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、原動機（前年同月比 2.6%減）が4か月ぶり、エアコン（同 0.5%減）が3か月ぶり、自動車の部分品（同 15.8%減）が7か月連続で前年実績を下回ったものの、自動車（同 138.9%増）が13か月連続、二輪自動車類（同 10.2%増）が11か月連続、科学光学機器（同 30.7%増）が6か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、アジア向け（前年同月比 7.3%増）が13か月連続、米国向け（同 0.2%増）が2か月ぶり、EU向け（同 23.4%増）が11か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
輸出総額(百万円)	191,420	149,761	174,963	184,814	171,427	176,070	185,728	178,899
前年同月比(%)	14.6	7.4	12.1	15.0	18.2	7.2	17.9	9.5

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
原動機	5.1	6.8	2.1	▲0.4	5.8	9.5	7.2	▲2.6
エアコン	▲5.9	14.4	7.4	▲1.3	▲12.6	28.7	32.0	▲0.5
自動車	139.7	44.1	83.6	230.6	308.4	1.6	148.3	138.9
自動車の部分品	10.0	▲8.7	▲2.6	▲13.1	▲0.3	▲17.4	▲11.2	▲15.8
二輪自動車類	26.9	30.4	18.9	18.6	28.4	32.7	24.0	10.2
科学光学機器	4.8	▲4.8	0.4	22.5	53.8	45.3	38.2	30.7

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
アジア	14.2	14.7	8.1	15.4	23.0	7.4	18.9	7.3
米国	0.2	3.2	0.0	▲4.1	▲0.9	5.3	▲11.2	0.2
EU	40.5	2.9	48.6	42.9	41.8	8.7	54.9	23.4

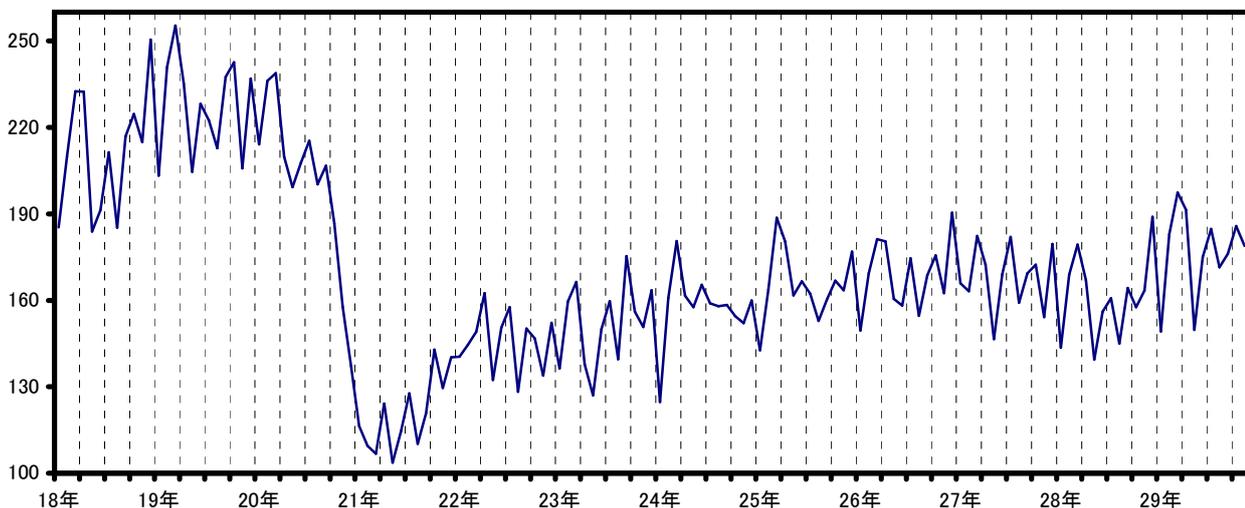
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

11月 = 89,555百万円

*前年同月比： 9.5%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

11月の清水税関支署管内の輸入総額は89,555百万円で、前年同月比 9.5%増となり、9か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、原動機（前年同月比 29.1%減）が7か月連続、自動車の部分品（同 4.6%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、魚介類（同 12.2%増）、パルプ（同 75.7%増）がいずれも2か月ぶり、木材（同 64.8%増）が4か月連続、紙類及び同製品（同 33.1%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

地域別では、アジアから（前年同月比 12.0%増）が9か月連続、米国から（同 9.1%増）が2か月ぶり、EUから（同 5.9%増）が10か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
輸入総額(百万円)	78,666	80,301	83,549	82,170	85,388	83,653	73,311	89,555
前年同月比(%)	11.3	1.7	17.9	21.8	13.4	13.8	3.8	9.5

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
魚介類	8.6	▲ 31.2	69.1	26.4	52.1	5.1	▲ 9.2	12.2
木材	9.7	▲ 4.4	13.7	▲ 7.7	9.8	34.2	30.1	64.8
パルプ	21.3	55.2	5.5	39.0	37.6	50.8	▲ 4.9	75.7
紙類及び同製品	98.7	▲ 17.2	▲ 36.5	16.6	13.2	▲ 9.8	4.3	33.1
原動機	85.0	▲ 50.4	▲ 37.6	▲ 29.6	▲ 68.9	▲ 9.6	▲ 8.6	▲ 29.1
自動車の部分品	19.0	33.2	12.1	24.1	21.3	▲ 0.4	15.8	▲ 4.6

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

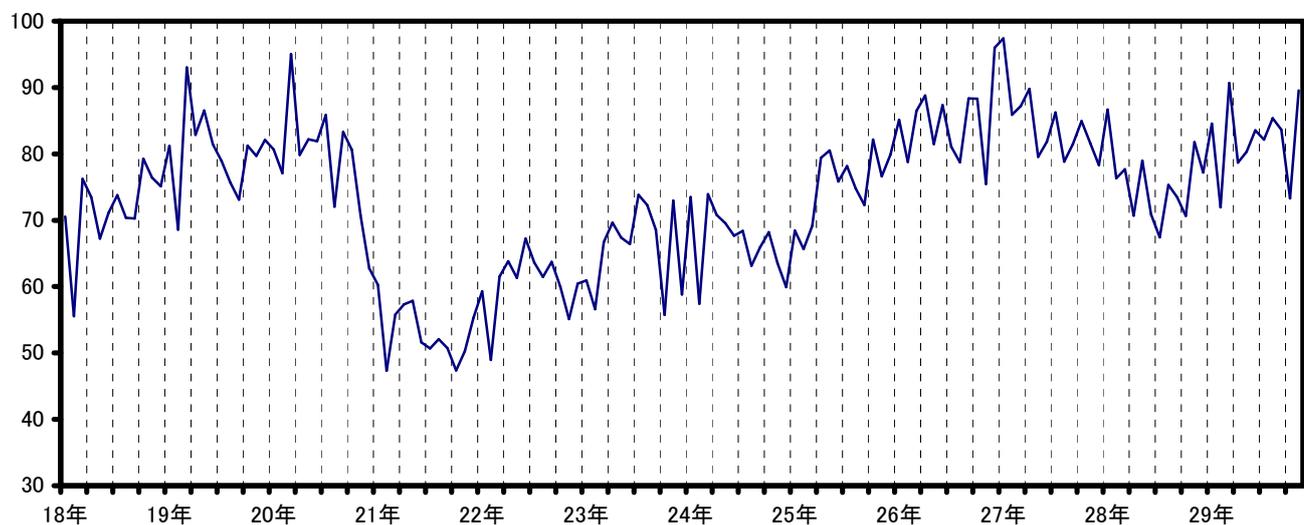
	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
アジア	4.0	10.6	23.8	15.5	1.6	22.2	1.2	12.0
米国	18.3	▲ 10.5	▲ 9.7	35.8	▲ 4.9	21.4	▲ 1.0	9.1
EU	35.7	18.7	31.1	17.7	30.7	21.5	24.5	5.9

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

10月 = 96.3

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 3.3%増

*前年同月比(原指数) : 9.6%増

<概況>

10月の鉱工業生産指数(総合)は96.3(季節調整済指数)で、前月比3.3%増となり、2か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は9.6%増と10か月連続で前年水準を上回った。業種別にみると、パルプ・紙・紙加工品(前年同月比1.5%減)が5か月連続、食料品・たばこ(同3.4%減)が2か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同19.5%増)が5か月ぶり、電気機械(同5.5%増)が6か月連続、輸送機械(同20.2%増)が11か月連続、化学(同10.0%増)が10か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	29年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
指数	96.4	94.8	91.4	92.2	91.3	94.1	93.2	96.3
前月比(%)	1.2	▲1.7	▲3.6	0.9	▲1.0	3.1	▲1.0	3.3
前年同月比(%)	8.8	1.0	4.8	3.7	3.0	4.0	2.3	9.6
(参考)全国前年同月比(%)	3.3	5.7	6.8	4.9	4.7	5.4	2.5	5.9

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲7.7	▲13.8	4.6	▲7.8	▲3.7	▲6.8	▲4.7	19.5
電気機械工業	4.8	▲2.1	6.8	3.7	4.1	9.3	3.9	5.5
輸送機械工業	38.8	12.3	7.7	14.8	3.7	10.0	11.4	20.2
化学工業	1.1	2.8	11.9	4.3	7.0	2.3	1.3	10.0
パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.4	1.9	3.4	▲0.2	▲2.7	▲0.4	▲1.9	▲1.5
食料品・たばこ工業	▲7.7	▲9.3	▲5.2	▲3.2	0.8	0.9	▲6.3	▲3.4

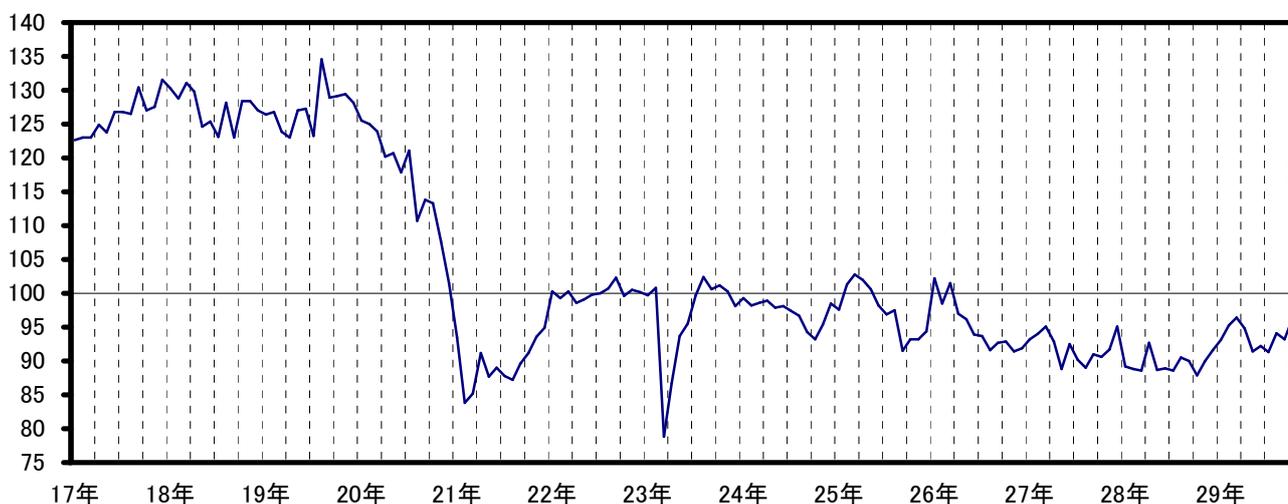
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



(2) 鋳工業在庫指数

10月 = 116.6

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 4.9%増

*前年同月比(原指数) : 5.3%増

<概況>

10月の鋳工業在庫指数(総合)は116.6(季節調整済指数)で、前月比は4.9%増と4か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は5.3%増と4か月ぶりに前年水準を上回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今月は「在庫積み増し局面(景気拡大期)」に該当する。

業種別にみると、パルプ・紙・紙加工品(前年同月比 9.7%減)が4か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同 3.9%増)が6か月連続、電気機械(同 16.7%増)が3か月連続、輸送機械(同 6.0%増)が4か月ぶり、化学(同 23.9%増)が5か月連続、食料品・たばこ(同 12.9%増)が7か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	29年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
指数	118.2	116.7	114.2	118.2	113.4	113.3	111.2	116.6
前月比(%)	▲1.0	▲1.3	▲2.1	3.5	▲4.1	▲0.1	▲1.9	4.9
前年同月比(%)	▲2.7	▲0.8	▲0.6	3.6	▲0.5	▲1.0	▲0.8	5.3
(参考)全国前年同月比(%)	▲3.9	▲1.1	▲1.2	▲3.1	▲2.4	▲3.0	▲2.4	1.9

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
はん用・生産用・業務用機械工業	0.2	▲1.2	3.0	7.2	1.6	0.2	4.7	3.9
電気機械工業	9.3	▲2.3	▲2.5	▲7.0	▲0.7	0.5	6.3	16.7
輸送機械工業	7.2	9.0	7.8	14.9	▲22.7	▲26.1	▲14.9	6.0
化学工業	▲9.8	▲4.6	▲5.4	1.5	5.9	12.4	7.3	23.9
パルプ・紙・紙加工品工業	0.0	3.0	1.0	0.6	▲2.5	▲6.0	▲6.4	▲9.7
食料品・たばこ工業	▲9.3	5.1	8.1	15.6	1.7	7.7	4.6	12.9

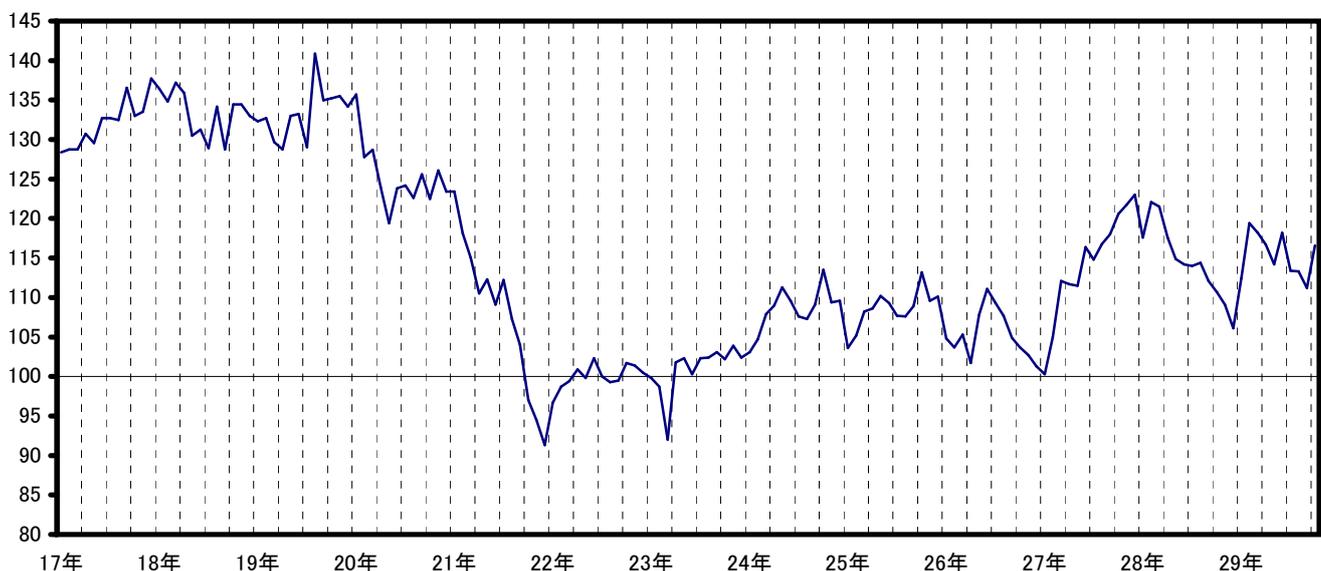
(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

11月 = 1.59倍

*前月比（季節調整値）：0.01ポイント増

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概況>

11月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.59倍となり、前月を0.01ポイント上回った。また、9か月連続で全国値を上回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比 5.9%増）は22か月連続で前年実績を上回った。

産業別にみると、情報通信業（前年同月比 17.6%減）、卸売業・小売業（同 1.9%減）がいずれも3か月ぶり、サービス業（他に分類されないもの）（同 5.8%減）が21か月ぶりに前年実績を下回ったものの、建設業（同 10.5%増）が22か月連続、製造業（同 14.9%増）が25か月連続、運輸業・郵便業（同 7.0%増）が13か月連続、医療・福祉（同 11.3%増）が15か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
県	1.51	1.54	1.57	1.57	1.55	1.56	1.58	1.59
全 国	1.48	1.49	1.51	1.52	1.52	1.52	1.55	1.56

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
建 設 業	10.5	15.2	11.7	7.3	15.3	5.9	13.3	10.5
製 造 業	7.4	21.8	33.2	13.2	11.0	7.2	13.3	14.9
情 報 通 信 業	4.5	16.4	▲ 15.8	8.1	▲ 12.2	9.2	16.2	▲ 17.6
運 輸 業 ・ 郵 便 業	15.9	13.8	8.0	2.7	19.6	20.9	9.6	7.0
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 3.5	▲ 6.2	▲ 9.2	10.0	▲ 5.7	7.6	1.4	▲ 1.9
医 療 ・ 福 祉	1.8	16.1	14.7	0.3	15.4	22.5	2.4	11.3
サービス業（他に分類されないもの）	16.5	24.5	21.6	11.5	6.8	29.2	20.6	▲ 5.8
合 計	8.3	12.3	13.4	8.1	9.1	15.7	9.7	5.9

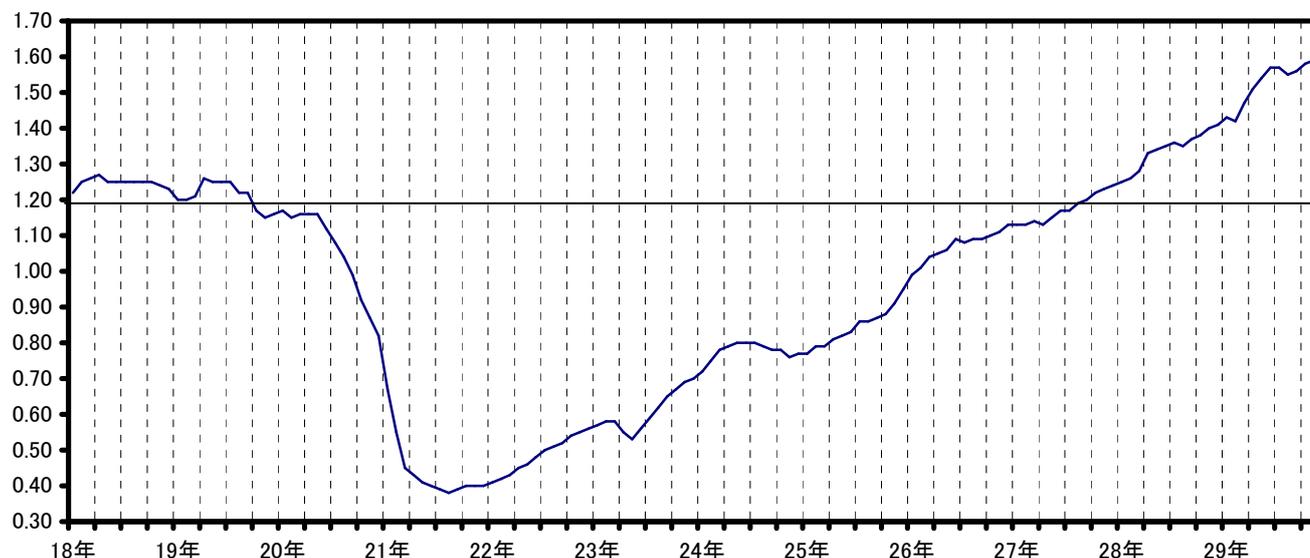
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

11月 = 10,848人

*前月比: 2.4%減

*前年同月比: 6.4%減

<概況>

11月の雇用保険受給者実人員は10,848人で、前月比は2.4%減と3か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は6.4%減と52か月連続で前年実績を下回った。
 完全失業率(全国)は2.7%で、前月から0.1ポイント改善した。
 静岡県(平成29年7~9月)の完全失業率は2.4%で、前期(29年4~6月)と同水準だった。

<最近の動き>

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
実人員(人)	9,531	10,897	11,025	11,093	11,844	11,236	11,111	10,848
前月比(%)	▲5.0	14.3	1.2	0.6	6.8	▲5.1	▲1.1	▲2.4
前年同月比(%)	▲14.2	▲8.8	▲11.9	▲11.8	▲11.0	▲11.5	▲8.7	▲6.4
(参考)全国前年同月比(%)	▲8.5	▲3.7	▲7.8	▲6.5	▲6.8	▲6.9	▲2.6	▲3.3

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
完全失業率(全国)(%)	2.8	3.1	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.7

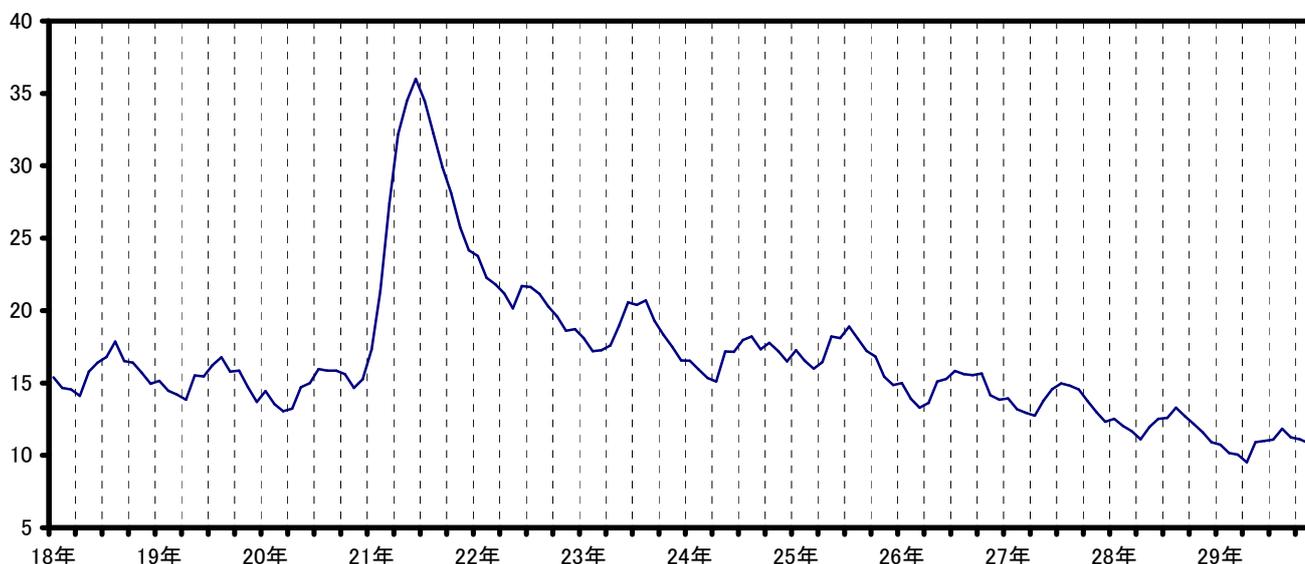
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

10月 = 105.0

*前月比(季節調整済指数): 1.3%減

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 2.0%増

<概況>

10月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は105.0(季節調整済指数)で、前月比1.3%減となった。また、前年同月比(原指数)は2.0%増と3か月連続で前年実績を上回った。

業種別にみると、建設業(前年同月比26.9%減)、情報通信業(同3.2%減)がいずれも2か月ぶり、運輸業・郵便業(同5.1%減)が8か月連続、医療・福祉(同12.9%減)が2か月連続で前年実績を下回ったものの、製造業(同1.3%増)が3か月連続、卸売業・小売業(同46.9%増)が5か月連続、その他のサービス業(同38.8%増)が4か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	29年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
指数	102.0	103.6	104.7	105.5	103.2	100.2	106.4	105.0
前月比(%)	▲1.2	1.6	1.1	0.8	▲2.2	▲2.9	6.2	▲1.3
前年同月比(%)	2.1	0.0	0.0	1.3	0.0	2.4	4.9	2.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲0.9	▲0.9	0.6	▲1.8	▲0.9	0.8	▲0.1	▲0.2

*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
建設業	▲10.6	▲22.3	19.5	5.2	▲13.4	▲1.5	13.9	▲26.9
製造業	13.2	5.0	8.4	7.6	▲0.3	0.8	6.2	1.3
情報通信業	1.2	▲4.2	▲1.2	▲4.6	3.4	▲4.7	19.8	▲3.2
運輸業・郵便業	▲1.6	▲2.8	▲1.7	▲3.8	▲1.1	▲3.7	▲0.6	▲5.1
卸売業・小売業	▲25.7	▲14.1	▲13.5	2.6	24.8	9.8	24.0	46.9
医療・福祉	▲8.0	▲10.1	▲3.0	▲14.0	▲2.8	6.1	▲1.7	▲12.9
その他のサービス業	▲10.5	▲26.9	▲22.5	▲5.3	12.6	14.4	13.1	38.8
調査産業計	2.1	0.0	0.0	1.3	0.0	2.4	4.9	2.0

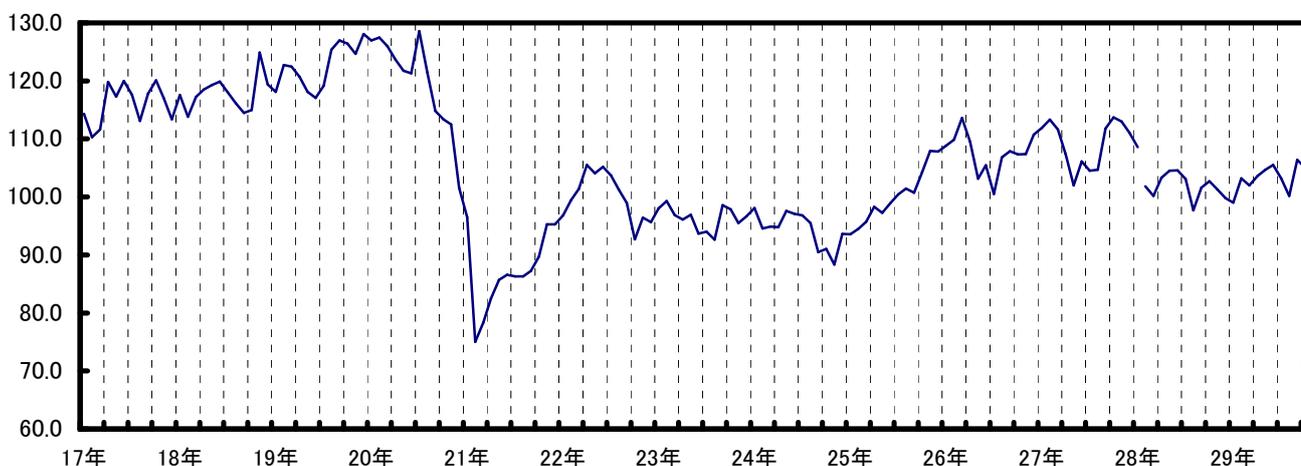
*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

12月 = 100.1

(平成27年=100)

*前月比: 0.2%上昇

*前年同月比: 3.1%上昇

<概況>

12月の国内企業物価指数は100.1となり、前月比は0.2%の上昇となった。また、前年同月比は3.1%の上昇となった。

<最近の動き>

	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
国内企業物価指数	98.4	98.5	98.8	98.8	99.1	99.4	99.9	100.1
前月比 (%)	0.0	0.1	0.3	0.0	0.3	0.3	0.5	0.2
前年同月比 (%)	2.1	2.2	2.6	2.9	3.1	3.4	3.6	3.1

*平成27年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

11月 = 139,604億円

(銀行、信用金庫)

*前月比: 0.3%増

*前年同月比: 1.7%増

<概況>

11月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は139,604億円で、前月比は0.3%の増加となり、前年同月比は1.7%の増加となった。

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
貸出残高(億円)	138,500	138,440	139,225	139,248	139,196	141,064	139,254	139,604
前月比 (%)	▲0.9	0.0	0.6	0.0	0.0	1.3	▲1.3	0.3
前年同月比 (%)	2.0	2.1	2.3	2.4	2.4	2.4	2.0	1.7

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

11月 = 2.117%

(県内地銀4行総平均)

*前月差: 0.006ポイント減

*前年同月差: 0.029ポイント減

<概況>

11月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.117%で、前月から0.006ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.029ポイントのマイナスとなった。

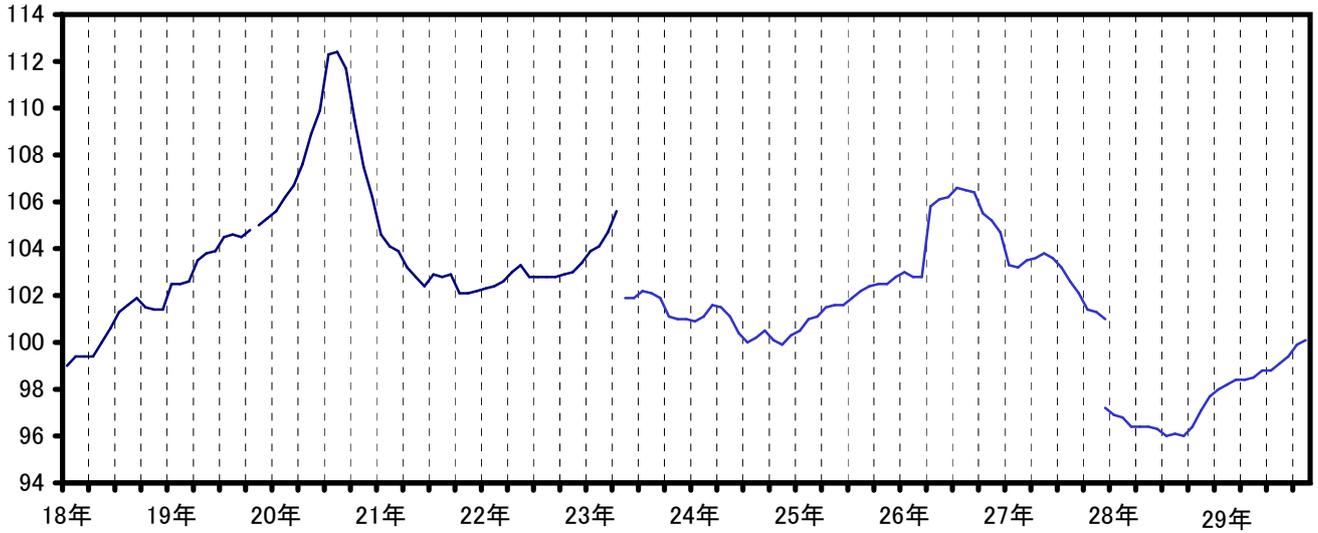
	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
貸出約定金利 (%)	2.133	2.131	2.123	2.120	2.122	2.111	2.123	2.117
前月差(ポイント)	0.005	▲0.002	▲0.008	▲0.003	0.002	▲0.011	0.012	▲0.006
前年同月差(ポイント)	▲0.023	▲0.021	▲0.030	▲0.035	▲0.032	▲0.033	▲0.029	▲0.029

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

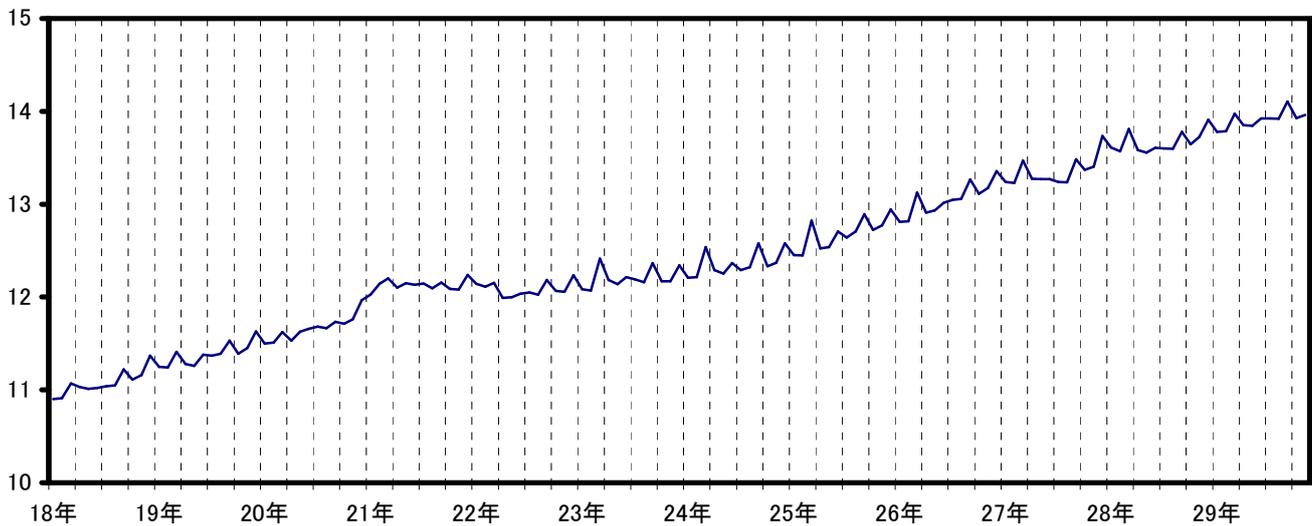
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



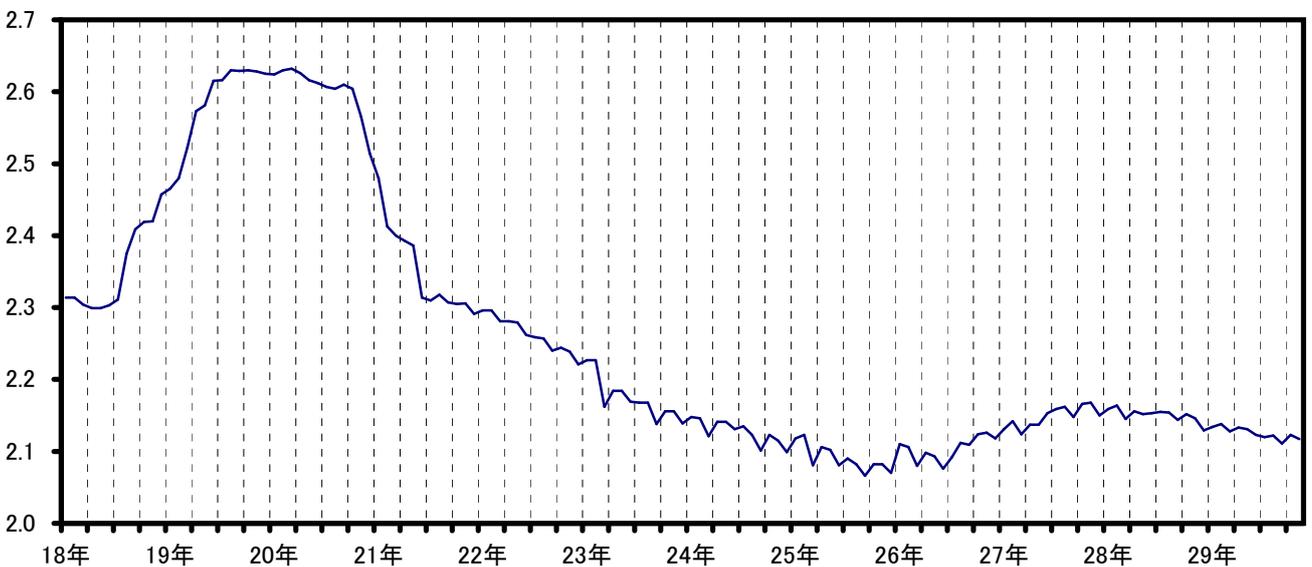
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**11月 = 20,201百万円**

*前年同月比： 4.7%増

<概況>

11月の保証承諾は、金額が20,201百万円（前年同月比 4.7%増）と8か月ぶりに前年実績を上回り、件数は1,930件（同 2.2%増）と32か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
保証金額（百万円）	11,692	14,148	19,274	17,411	18,145	19,319	15,886	20,201
前年同月比（%）	▲ 17.7	▲ 18.2	▲ 16.7	▲ 15.9	▲ 19.6	▲ 17.1	▲ 6.8	4.7
保証件数（件）	1,380	1,608	1,985	1,738	1,933	2,009	1,635	1,930
前年同月比（%）	▲ 13.7	▲ 12.4	▲ 14.6	▲ 13.5	▲ 11.0	▲ 13.4	▲ 8.2	2.2

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**12月 = 112.97円/ドル**

*前月差： 0.05円安

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 2.98円高

<概況>

12月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は112.97円で、前月と比べて0.05円の円安となり、2か月ぶりの円安となった。

<最近の動き>

	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均相場（円）	112.21	110.91	112.44	109.91	110.68	112.96	112.92	112.97
前月差（円）	2.15	▲ 1.30	1.53	▲ 2.53	0.77	2.28	▲ 0.04	0.05
前年同月差（円）	3.06	5.42	8.54	8.64	8.64	9.14	4.74	▲ 2.98

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****12月 = 15件**

*前年同月比： 57.1%減

<概況>

12月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産件数は15件（前年同月比 57.1%減）と、前年実績を下回った。負債総額は1,255百万円（同 77.9%減）と、前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が13件と全体の86.7%を占め、241か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

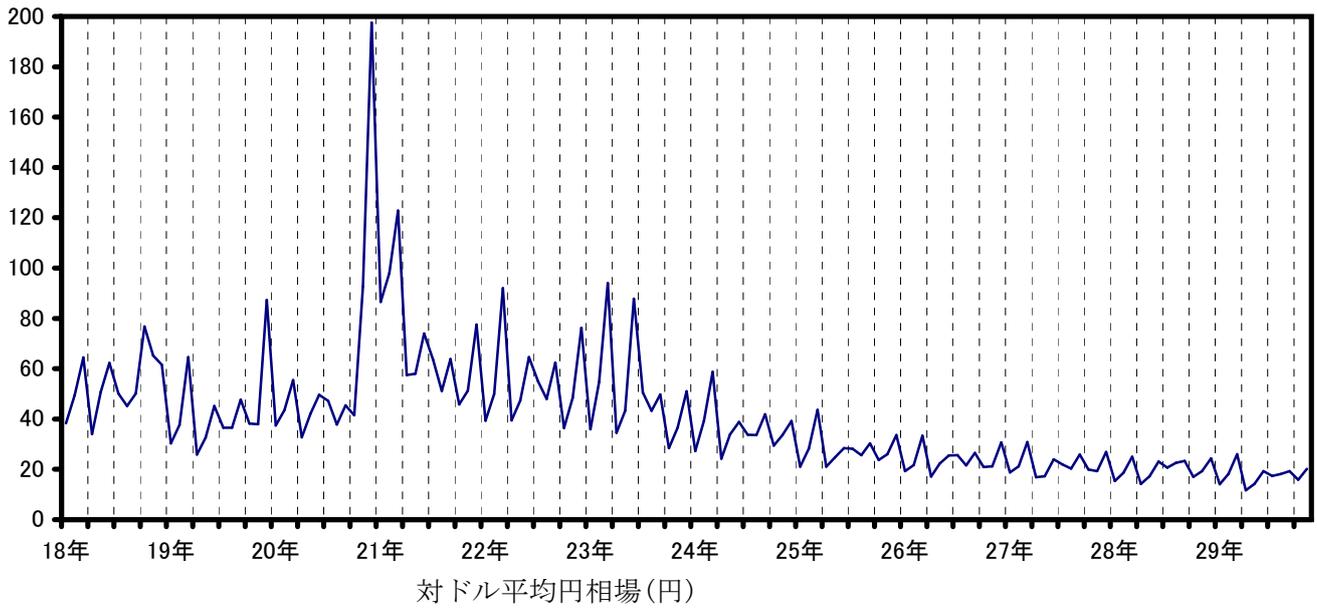
	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
倒産件数（件）	18	23	27	21	23	23	21	15
前年同月比（%）	▲ 48.5	▲ 25.8	▲ 25.0	10.5	4.5	76.9	10.5	▲ 57.1
うち不況型倒産件数（件）	17	20	24	20	22	20	21	13
負債総額（百万円）	2,338	2,940	3,157	1,679	1,558	3,542	8,404	1,255
前年同月比（%）	▲ 73.4	▲ 42.2	▲ 62.8	▲ 18.6	▲ 32.6	117.1	310.1	▲ 77.9

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

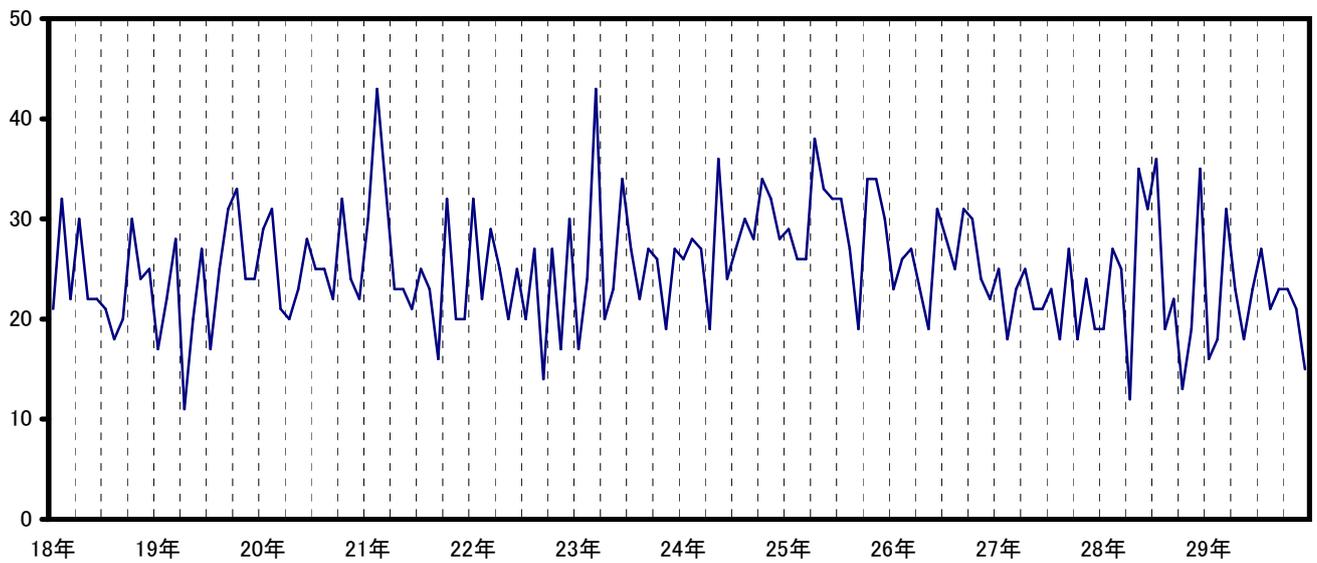
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 平成29年11月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>11月の国内二輪車生産台数は、57,023台（前年同月比 12.3%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、9,513台（同 28.5%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、2,709台（同 8.6%減）と、4か月ぶりに前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、6,022台（同 15.6%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、38,779台（同 6.7%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、27,514台（同 16.2%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。輸出向けは、38,589台（同 8.5%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>11月の自動車国内生産台数は、847,718台（前年同月比 0.9%増）と、13か月連続で前年実績を上回った。また、輸出は438,377台（同 3.6%増）と、3か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が13か月ぶりに前年実績を下回ったものの、トラックが2か月連続、全体では13か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>11月の冷蔵庫の国内出荷額は217億円（前年同月比 32.2%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回り、国内出荷台数は192千台（同 28.7%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>11月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは435千台（同 1.8%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。業務用は65千台（同 1.6%増）と、8か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>10月の携帯電話の国内出荷台数は、977千台（同 36.1%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、526千台（同 51.6%減）と、4か月ぶりに前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は 53.8%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>11月の工作機械の受注総額は1,584億9,600万円（前年同月比 46.8%増）と、12か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は1,041億7,400万円（同 65.4%増）と、12か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが568億8,500万円（同 147.2%増）と、12か月連続で前年実績を上回った。内需は543億2,200万円（同 20.8%増）と、10か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>県内中小企業からは「工作機械の受注増加に伴い、生産計画は増産計画だが、部品の遅れで生産対応ができない」という声や「半導体関連装置や省力化設備のニーズは高まりを見せている」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>11月の県内楽器メーカーの販売金額は、51億2,500万円（前年同月比 0.1%増）と、6か月ぶりに前年実績を上回った。内訳は輸出向けが23億6,700万円（同 3.5%減）、国内向けが27億5,800万円（同 3.4%増）だった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,873台（同 3.1%減）だった。機種別では、アップライトピアノが1,899台（同 5.9%減）、グランドピアノが974台（同 3.0%増）だった。また、販売台数は、輸出向けが1,784台（同 12.6%増）、国内向けが1,581台（同 2.2%増）だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>11月の紙・板紙の国内出荷高は、2,141千トン（前年同月比 1.1%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は1,136千トン（同 3.2%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。板紙は1,006千トン（同 1.3%増）と、13か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、624千トン（同 5.2%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、157千トン（同 2.2%増）と、3か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>11月の県内生産量は、食缶類が国内向け992千箱（前年同月比 2.3%増）と、9か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は708千箱（同 0.8%減）と、13か月連続で前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は515千箱（同 1.5%減）と、9か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は284千箱（同 10.9%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが6,345千箱（同 4.5%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>11月の広幅織物の県内生産は、1,679千㎡（前年同月比 0.8%減）と、13か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,620千㎡（同 1.5%減）と、13か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、59千㎡（同 24.0%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、32千㎡（同 0.6%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>11月の全国百貨店での家具販売額は、54億9,538万円（前年同月比 0.4%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、614億9,435万円（同 0.7%減）と、5か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>11月の県内百貨店の売上高は、対前年比で0.9%増加した。</p> <p>商品別では、主力の衣料品が苦戦したものの、食料品の好調に加え、化粧品が引き続き大きく伸びた。</p> <p>県内の食品スーパーへの聞き取りでは、不漁等の影響により水産系が苦戦する一方で、精肉・加工肉が好調だった。</p> <p>11月の中部地域では、大型商業施設が開店し、オープン前から行列ができるなど、大勢の来店客でにぎわった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県百貨店協会、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>平成29年11月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約37万人と、前年同月比7.2%増だった。今年も、上旬の祝日が3連休となったほか、晴れとなった日が多くなったことなどにより、入込客数が増加した。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両数は、約74万台と、前年同月に比べ4.8%増だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

= IVデータからみた県内主要産業 =

<二輪車>

	29年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
完成車生産台数(台)	27,781	21,687	19,492	17,298	14,990	16,110	14,890	16,922	16,792
前年同月比(%)	22.9	3.7	16.0	4.9	▲10.9	20.0	7.8	▲15.8	▲30.8
KD輸出額(百万円)	651	680	635	714	772	575	496	603	606
前年同月比(%)	▲7.7	5.3	18.7	▲6.1	14.0	▲24.6	▲26.2	4.4	▲15.7

<楽器>

	29年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
生産総額(百万円)	3,723	3,403	3,554	3,731	3,355	2,933	3,078	3,305	3,334
前年同月比(%)	▲2.6	▲11.3	5.3	▲10.2	▲12.1	▲11.4	▲20.1	▲10.6	▲8.3

<缶詰>

	29年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
食缶生産高(千ケース)	996	965	888	999	966	976	965	967	992
前年同月比(%)	▲0.2	▲4.5	▲12.2	▲9.3	▲5.4	▲0.1	▲9.3	▲5.0	2.3
うち水産缶詰(%)	▲0.1	▲5.0	▲8.4	▲11.4	▲11.5	▲13.0	▲14.3	▲8.6	▲0.8
農畜産缶詰(%)	▲0.4	▲3.4	▲21.7	▲3.9	11.6	42.4	6.2	5.2	10.9
飲料缶生産高(千ケース)	7,254	8,148	8,392	7,969	8,384	7,648	6,297	5,945	6,345
前年同月比(%)	1.1	2.8	0.4	3.3	▲1.1	3.0	▲11.9	▲9.4	▲4.5

<繊維>

	29年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
広幅織物(千㎡)	1,321	1,338	1,170	1,137	1,120	1,110	1,411	1,493	1,679
前年同月比(%)	▲9.7	▲11.4	▲2.8	▲4.9	▲1.2	▲2.2	▲3.3	▲1.9	▲0.8
小幅織物(千㎡)	34	33	32	29	27	25	31	32	32
前年同月比(%)	▲8.7	▲9.7	▲2.8	▲3.3	▲0.7	▲6.0	3.5	2.5	▲0.6

<観光>

	29年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
観光施設(10施設)入込 (千人)	484	507	638	366	334	563	391	331	374
前年同月比(%)	▲3.8	▲0.6	2.7	10.8	▲7.9	2.0	6.2	▲23.3	7.2
有料道路(5路線)通行量 (千台)	777	699	759	670	774	883	704	670	735
前年同月比(%)	2.4	2.2	3.6	3.1	2.5	2.4	3.9	▲5.7	4.8

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・百貨店販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・専門量販店等販売額		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・自動車新規登録台数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・新設住宅着工戸数			
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
平成30年1月号 通巻501号

発行 静岡県経済産業部
平成30年1月

編集 経済産業部管理局政策監
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>